

JCI  社団法人人間青年会議所

創立35周年 特別ビジョン

「元気！」

～立ち上がろう！市民力あふれるまちの実現のために～

社団法人 入間青年会議所 創立 35 周年 特別ビジョン

1. はじめに

私たち社団法人入間青年会議所（以後入間 JC）は、多くの皆様に支えられ本年創立 35 周年を迎えることができました。創立 30 周年の年に、地域に対して意識を高く持ち、新たに生まれ変わる決意で「入間 JC 新生ビジョン」を作成致しました。入間 JC の目指す永遠のテーマとして「夢あふれるまち」を掲げ、それを実現させるために、この年より 10 年間は「真に自立したまち」という将来像を目指して活動していくべきであると定義しました。

創立 30 周年の年より 5 年間、多くの事業をおこない、様々な運動を発信しました。本年創立 35 周年という折り返し地点を迎え、この 5 年間の事業の検証をおこないました。

この 5 年間の入間 JC の事業は、入間 JC 新生ビジョンに沿った運動を発信しました。各事業も、ビジョンに対してバランス良くおこないました。その中でも、すべての事業が「市民の自立」への運動に繋がっており、私たちは地域で暮らす方々がまちへ関心を持ち、地域の課題を自分の問題と捉え、地域コミュニティの必要性を感じていただくために運動をおこないました。

入間市は、税収から見えるように、不景気ながらも地域経済は現状を維持していると考えられます。また、行政と市民との協働は年々増加傾向にあり、防災訓練や市民清掃デーなどの高い参加率は、自治会が機能しているため、行政と市民が連携したまちづくりをおこなっていると考えます。そして、市民団体の増加やまちづくりへの参画が活発なことから、市民は自立に向かっていると考えます。

このようなまちの現状を考えると、入間市の 5 年間は市民にとって大きな問題もなく住みやすいまちであったと考えます。しかしながら、入間市においては選挙における投票率が低く、行政に頼っているように感じる部分もあります。また、JC がおこなう事業の動員数からもまちづくりにおいて関わりが薄い分野に対して、関心を持っていただくことが難しいと感じております。

上記のことから、地域で暮らす方々がまちづくりに興味や関心を持ち一人ひとりが自分の責任を果たしていただく必要があると考えます。そのために私たち入間 JC は、まちを大きなコミュニティと捉え、人と人の繋がりに必要な「豊かな心」をもつていただくための運動を発信していくこと、今まで以上に発信力のある事業を展開することが必要です。

2. まちのビジョン ～真に自立したまち～

夢あふれるまち
(人間JC永遠のテーマ)

真に自立したまち
(10年後の将来像)

強い自治体
(財政・権限)

市民の自立
(協働)

**地域経済の
活性化**

郷土愛
(まちづくりの基礎)

心の豊かさ
(人づくりの土台)

心の豊かさ ～心から理解し合える人と人の繋がり～

日本人は昔からお互い様や助け合いの精神と、人や物に感謝出来る「心の豊かさ」を持っています。しかし、多くの物が溢れ人と関わらずに、人が一人でも暮らしていける生活環境の変化が、「心の豊かさ」を育む環境を。その結果、人やまちに関心が薄れ、人と人との繋がりが希薄になってきました。今後のまちづくりには、積極的な人と人との関わりの中で「心の豊かさ」を育むことが重要です。前を向き行動するための自信を持ち「真に自立したまち」を目指します。

3. JC ビジョン ～「真に自立したまち」のために～

(1) 「心の豊かさ」の取組み

- a. 入間 JC メンバーが「心の豊かさ」を育む取組みをおこないます。率先して地域に対してお互いさまや思いやりや感謝の心を持ち「心の豊かさ」を深く理解することで個人の資質の向上に繋がります。
- b. 地域の方々に「心の豊かさ」を持っていただく事業をおこないます。人と人との関わりの中で育まれる「心の豊かさ」を私たちはまちづくり運動を通じて地域に波及させていきます。

(2) 「未来に向けた発信力」の取組み

地域の方々に期待される活動をおこない共感していただくためには、私たち一人ひとりが、地域の大人として使命感を持ち行動することが必要です。それらが入間 JC のブランド力を向上させることに繋がり、今後のまちづくり運動の発信力を高めることとなります。

- a. 地域の現状に対して、事業として調査及び情報収集に取り組めます。質の高い情報をメンバーが共有し一人ひとりが課題を見出し、自主性を持って事業に取り組むことにより発信力を高めます。
- b. まちづくりに携わる人との多くのコミュニケーションを図ります。主として運動の方向性を共有できる市内の各種団体と関わることで、多くの人との繋がりを構築し発信力を高めます。
- c. 入間 JC メンバーは、地域での責任を果たし信頼される大人になります。そして、まちづくりに対しての使命感を持った行動が、入間 JC の信頼に繋がり発信力を高めます。

5. おわりに

このたび、創立 35 周年を機会に今後創立 40 周年までにこの地域が「真に自立したまち」になるために、あらためて入間 JC がまちづくりをおこなう中で、向かうべき方向性を「創立 35 周年特別ビジョン」として近年の地域社会の変化を考慮し入間 JC 新生ビジョンに追記しました。5 年間の事業の方向性と、まちの 5 年間の変化を入間新生ビジョンの内容に照らし合わせ検証した結果、「真に自立したまち」に向けた運動の方向性を示す 3 本柱の根底に、「豊かな心」を持つことですべての事業が飛躍し、その取組みが今まで以上に発信力のある事業を展開するために「未来に向けた発信力」を追記しました。

入間 JC の永遠のテーマである「夢あふれるまち」の実現に向けて、この地域を「真に自立したまち」にするために、我々が自身を顧みて、率先してまちづくりを通じた市民の方々との関わることで「心の豊かさ」を身につけ、「未来に向けた発信力」を強化することで、今まで以上に市民の方々に期待され、信頼され、必要とされる団体として運動を通じて地域の方々とともにまちづくりをおこないます。